大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2025年 第43週(10月20日~10月26日)

今週のコメント

~インフルエンザ~ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 流行期入り後 増加続く」

第43週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1.495例であり、前週比3.8%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性 胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎、伝染性紅斑の順で、定点あたり報告数はそれぞ れ3.10、1.81、1.26、1.23、0.53である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比7%増の576例で、北河内4.30、南河内4.19、中河内3.89、大阪市西部3.60、泉州3.45であっ

RSウイルス感染症は13%増の336例で、大阪市北部3.85、北河内3.83、南河内2.06である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は11%増の235例で、中河内2.16、大阪市南部2.12、南河内1.38であった。

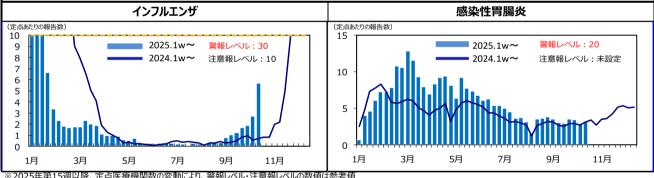
流行性角結膜炎は25%増の64例で、泉州3.33、中河内2.20、三島1.75である。

伝染性紅斑は26%減の99例で、中河内1.05、南河内0.81、泉州・大阪市西部0.70であった。

インフルエンザは107%増の1,659例で、定点あたり報告数は5.68である。南河内10.21、泉州8.58、堺市7.92、北河内7.24、大阪 市西部6.20である。全てのブロックで前週より増加した。

新型コロナウイルス感染症は23%減の377例で定点あたり報告数は1,29である。泉州1,79、北河内1,76、中河内1,62、大阪市東 部1.60、南河内1.29であった。

急性呼吸器感染症(ARI)は22%増の11,997例で定点あたり報告数は41.09である。南河内57.46、北河内53.08、堺市50.20、 泉州46.12、中河内45.55であった。



※2025年第15週以降、定点医療機関数の変動により、警報レベル・注意報レベルの数値は参考値

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2025年 第43週10月20日~10月26日)

第43週 の順位	第42週 の順位	感染症	2025年 第43週の 定点あたり 報告数	前週比增減	2024年 第43週の 定点あたり 報告数	2025年第43週の 年齢別 患者発生数 最大割合値		
1	1	感染性胃腸炎	3.10	7%增	3.10	1歳_12%		
2	2	RSウイルス感染症	1.81	13%増	0.40	1歳_38%		
3	3	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.26	11%増	1.71	5歳_18%		
4	4	流行性角結膜炎	1.23	25%增	0.37	20歳以上_42%		
5	5	伝染性紅斑	0.53	26%減	0.07	5歳_22%		
参考		インフルエンザ (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	5.68	107%增	0.65	10-14歳_27%		
参考		新型コロナウイルス感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	1.29	23%減	1.04	10-19歳_23%		
参考		急性呼吸器感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	41.09	22%増	-	1-4歳_38%		

2025年第15週から急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)サーベイランスが開始となりました。

2025/26年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

各疾患の詳細は、大阪府感染症情報センターホームページ(定点把握疾患、疾患別情報、病原体検出情報)をご覧ください。

第43週のコメント

~梅毒~ 大阪府における2024年の梅毒累計報告数は1,941例であった

全数把握感染症

梅毒

全国の梅毒の年間報告数は、2021年7,978例、2022年13,221例と増加し、2023年は過去最高の14,906例を記録した。大阪府においても、2023年は2,019例で、現行の集計方法で過去最高の年間報告数であった。2024年は、2023年より報告数は減少したものの、速報値では全国で14,663例、大阪府で1,941例と、いずれも2023年に次いで過去3番目に多かった。梅毒は、性的な接触により、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。

梅毒(大阪府感染症情報センター)

<u>梅毒[国立健康危機管理研究機構(旧 国立感染症研究</u>所)]

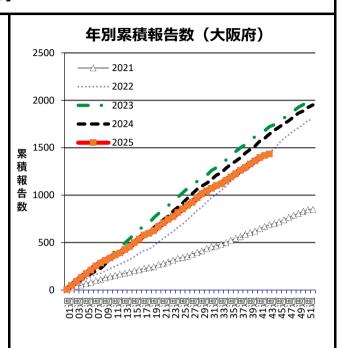


表 2. 大阪府全数報告数(2025年 第43週10月20日~10月26日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	- 最		北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数府内累積
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2			1					1	196
4類感染症	デング熱	1								1	16
4 類恩未加	レジオネラ症(肺炎型)	2				1				1	125
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1	85
	後天性免疫不全症候群	1								1	79
口米百尺沙小宁	侵襲性肺炎球菌感染症	1							1		264
5類感染症	梅毒	15		2	1				2	10	1,435
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1							1		8
	百日咳	25	3	1	2	4	1		8	6	3,078
結核	結核 新登録患者数:73名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 21名)										
(2025年8月分)	目分) (府内累積報告数 766名、内 肺·喀痰塗抹陽性 255名)										

(2025年10月28日 集計分)